

2020年度 授業改善報告書

| | |
|---------------------|------------------------------|
| 科目開講時期 いずれかに○をする | 第(2)セメスター(後半) |
| 科目区分 いずれかに○をする | (○) 必修科目 () 選択必修科目 () 選択科目 |
| 科目名 | 多職種連携特論 |
| 担当教員名 | 和佐 勝史 |

| |
|---|
| 以下の項目についてご記入ください。 ※ オムニバス形式による授業の場合は、代表教員が科目全体についてご記入ください。 |
| 記 入 欄 |
| <p>1. <u>教育効果の向上を目的とし今年度実施した工夫や取り組み等について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義の前半は、多職種連携の一例として栄養サポートチーム (NST) の活動を取り上げ、NSTでの多職種連携の意義、各職種の役割、治療成績の向上、医療安全への貢献、などを解説した。それをもとに、各学生が臨床現場でどのような多職種連携を経験しているかをまとめ、発表することで、学生間で多様な多職種連携に関する情報を共有する機会とした。 ・後半は、多職種連携の中で、各職種がどのような役割をはたしているか、またその活動が医療安全にどのように結びつくのかを各自でまとめ、それを発表・議論する形式とした。このようなTBL(Team-Based Learning)を導入することで、学生が多職種連携と医療安全の結びつきを様々な医療現場で認識することを目指した。 <p>2. <u>カリキュラム・アンケート結果を踏まえた具体的な改善策、その他次年度の授業に向けた工夫や取り組み等について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の background (職種、年齢、経験) が様々で、それぞれ要求している内容、レベルが異なることが今回のアンケート調査で明らかとなった。例えば、患者と接する機会の少ない職種の学生も理解できるような内容で授業をすると、普段患者と接する機会の多い職種の学生には不満を感じる場合がある。 ・次年度は基本的には本年度の授業方針を踏襲するが、本年度の web 形式の講義では導入できなかったグループディスカッションを積極的に導入することで、学生参加型の授業を推進していきたい。また、アンケートにもあったように、どのようにチームとして機能させるかという課題についても、授業で取り上げる予定である。 |